

5 酒税率一覧表(平成18年5月1日～)

1. 酒税法第23条関係

酒類の分類	アルコール分等	1 kl 当たり	酒税率
○発泡性酒類(基本税率)		220,000円	
ビール	麦芽比率50%以上又はアルコール分10度以上	220,000円	220,000円
発泡酒	麦芽比率25%以上(アルコール分10度未満)		178,125円
	麦芽比率25%未満(アルコール分10度未満)		134,250円
その他の発泡性酒類	ビール及び発泡酒以外の品目の酒類のうち、アルコール分が10度未満で発泡性を有するもの(※)		80,000円
○醸造酒類(基本税率)		140,000円	
清酒		120,000円	
果実酒		80,000円	
その他の醸造酒		140,000円	
○蒸留酒類(基本税率)		200,000円	
	21度以上	200,000円	200,000円加算
	21度未満	200,000円	
連続式蒸留焼酎		200,000円	200,000円加算
単式蒸留焼酎		200,000円	200,000円加算
原料用アルコール			
ウイスキー	37度以上	370,000円	370,000円加算
ブランデー	37度未満	370,000円	
○混成酒類(基本税率)		220,000円	
	21度以上	220,000円	220,000円加算
	21度未満	220,000円	
合成清酒		100,000円	
みりん		20,000円	
甘味料	13度以上	120,000円	120,000円加算
リキュール	13度未満	120,000円	
粉末酒		390,000円	
雑酒	みりん類似	20,000円	
	21度以上	220,000円	220,000円加算
	21度未満	220,000円	

(※) ホップ等を原料の一部とした酒類で次に掲げるものは、その他の発泡性酒類に含まれる。
 1 糖類、ホップ、水及び一定の物品(注)を原料として発酵させたものでエキス分2度以上のもの(その他の醸造酒)
 (注)「一定の物品」とは、次のものをいう。
 イ たんぱく質分解物(大豆を原料とするもの)及び酵母エキス又はこれらとカラメル
 ロ たんぱく質分解物(えんどうを原料とするもの)及びカラメル又はこれらと食物繊維
 ハ たんぱく質分解物(とうもろこし、たんぱく質分解物(とうもろこしを原料とするもの)、酵母エキス、アルコール、食物繊維、香料、くえん酸三カリウム及びカラメル
 ニ 麦芽及びホップを原料の一部として発酵させた発泡酒(麦芽比率が50%未満のもの)に、大麦又は小麦を原料の一部として発酵させたアルコール含有物を蒸留したスピリッツを加えたものでエキス分2度以上のもの(リキュール)

2. 租税特別措置法第87条の2関係

次の品目のうち、発泡性のない酒類で、アルコール分13度未満のもの(リキュールについては12度未満のもの)については、1の表にかかわらず、次表の税率を適用する。

品目	アルコール分等	1 kl 当たり税率
連続式蒸留焼酎	9度以上13度未満	80,000円に8度を超える1度ごとに10,000円加算
単式蒸留焼酎	9度未満	80,000円

3. 租税特別措置法第87条及び第87条の4関係

次の品目のうち、前年度の課税移出数量がそれぞれ1,300kl以下である者(前年度の課税移出数量の合計が10,000kl超の酒類の製造者を除く)が、当年度に移出する酒類の200klまでのものについては、1の表により算出した酒類額を次表の割合で軽減した酒税額とする。
 なお、前年度の課税移出数量が1,000kl超～1,300kl以下の場合には上段の軽減割合、1,000kl以下の場合には下段の軽減割合を適用する。

品目	30年度	31(2019)年度	軽減割合		33(2021)年度	34(2022)年度
			32(2020)年度	10月～		
清酒(連続式蒸留焼酎、単式蒸留焼酎、果実酒(その他の発泡性酒類に該当するものを除く)(注1)に限る)(注1)	10%	10%	10%	10%	10%	10%
果実酒(その他の発泡性酒類に該当するものを除く)(注1)	20%	20%	20%	20%	20%	20%
合成清酒、発泡酒(注1)	5%	5%	5%	5%	5%	5%
	10%	10%	10%	10%	10%	10%
ビール(注2)	7.5%	7.5%	7.5%	7.5%	7.5%	7.5%
	15%	15%	15%	15%	15%	15%

(注)1 東日本大震災により酒類の製造場に甚大な被害を受けたことについて国税庁長官の承認を受けた製造者は、上記の割合で軽減した酒税額を6.25%軽減した酒税額とする。(平成30～32(2020)年度)

- 2 当該免許を受けた日から5年を経過する月の末日までは経過措置が設けられており、下記に応じた軽減割合が適用される。
- 平成25年4月1日から平成30年3月31日までの間に初めてビールの製造免許を受けた者における軽減割合は、当該免許を受けた日から5年を経過する月の末日までは15%(平成27年度以降は15%又は7.5%)
 - 平成30年4月1日から平成33(2021)年3月31日までの間に初めてビールの製造免許を受けた者における軽減割合は、当該免許を受けた日から5年を経過する月の末日までは15%又は7.5%

※この税率表では、平成31年以降の元号の表示につきましては、便宜上、平成を使用すると共に西暦を併記しております。

付表1 主要酒類の酒税等負担率表

(平成30年12月現在)

品 目	区 分	容 量	アルコール分	代表的なもの の小売価格 (税込)	酒 税 額 ②	消費税額 ③	酒税等負担率 (②+③)÷①
				①			
		ml	%	円	円	円	%
ビール		633	5.0	355	139.26	26.30	46.6
		350	5.0	221	77.00	16.37	42.2
発 泡 酒 (麦芽比率25%未満のもの)		350	5.5	164	46.99	12.15	36.1
その他の醸造酒 (発泡性) ①		350	5.0	143	28.00	10.59	27.0
リキュール (発泡性) ①		350	5.0	143	28.00	10.59	27.0
清 酒		1,800	15.0	2,017	216.00	149.41	18.1
果 実 酒		720	11.0	615	57.60	45.56	16.8
連続式蒸留焼酎		1,800	25.0	1,482	450.00	109.78	37.8
単式蒸留焼酎		1,800	25.0	1,844	450.00	136.59	31.8
ウイスキー		700	43.0	2,030	301.00	150.37	22.2

(注) 1 清酒、果実酒、連続式蒸留焼酎、単式蒸留焼酎及びウイスキーの小売価格(税込)は、大手主要銘柄のメーカー参考小売価格を基に算出した。

また、ビール、発泡酒、その他の醸造酒及びリキュールはオープン価格であるため、大手コンビニエンスチェーンにおける代表的な小売価格を掲げた。

なお、ビール(633ml)には容器保証金(5円)が含まれている。

2 その他の醸造酒(発泡性)①及びリキュール(発泡性)①とは、ホップ又は財務省令で定める苦味料を原料の一部とした酒類で酒税法第23条第2項第3号イ又はロに該当するものをいう。

3 消費税率は8%で計算している。

付表2 酒税等の負担率の推移

(単位:%)

品 目	年 度		平成 元	2	4	6	7	9	10	12	18	20	25	26	28~
	昭和 45	55													
ビール (大びん: 633ml)	47.9	42.5	46.9	44.1	44.1	45.5	45.5	46.5	46.5	46.5	46.2	45.1	45.1	46.6	46.6
清 酒 (1.8ℓ)	35.3	24.1	21.9	20.7	16.4	16.3	16.3	17.9	17.9	17.9	16.2	16.2	15.8	18.1	18.1
連続式蒸留焼酎 (25度、1.8ℓ)	19.9	10.9	22.7	21.3	21.3	25.5	25.5	31.7	35.8	35.8	36.0	36.0	36.0	37.8	37.8
単式蒸留焼酎 (25度、1.8ℓ)	12.9	7.2	14.3	13.5	13.5	17.0	17.0	23.9	27.9	32.0	32.1	29.9	29.9	31.8	31.8
ウイスキー (43度、700ml)	46.2	47.3	41.3	41.3	41.3	41.3	39.5	27.6	22.8	22.8	22.5	21.8	21.8	24.0	22.2

(注) 1 平成元年度以降の酒税等の負担率は、消費税を含む。

2 ビールについては、容器保証金(5円)込み価格から算出した。

3 ウイスキーについては、平成7年度から平成20年度まではアルコール分「40度」で酒税等の負担率を計算している。